

やまきだより 25



みなさま、ごぶさたでした。ほんとうに、お久しぶりです。

じつは、2年前からベトナムの新会社設立に係わり、「ベトナムの新会社がオープンしたら、そのタイミングでご紹介を兼ねて『やまきだより』を発行して・・・」と考えていたのですが、なんだかんだで2年かかってしまいました。

その話はこのあとにすぐ。

私の近況報告として、お世話になっている方にこの「やまきだより第25号」を送らせていただきます。ご意見、ご質問、アドバイス、お問合せなんでも結構です。どしどし連絡ください。(本レポートがご迷惑の場合や、不要の場合はその旨連絡ください。配信ストップします。)

【ベトナムの新会社】

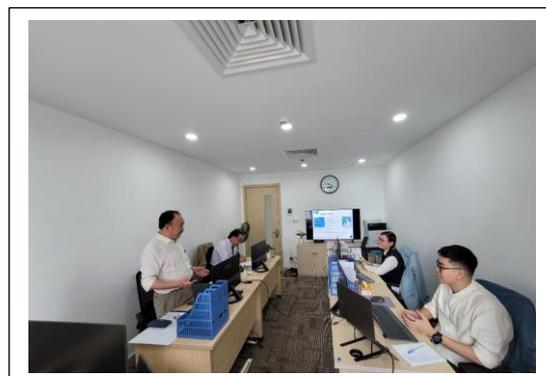
やっとベトナムの新会社が正式に設立されました。

「エンビアパック リサーチ コンサルティング社 (Enviapac Research & Consulting)」という会社です。

正式な設立まで2年かかったのは、許認可窓口のハノイ市当局の指示・指導条項が何度か変更になり、その都度、対応に追われて時間がかかり、昨年末にやっと正式な認可が下りました。



現地トップのニューディレクターと



オフィスの様子

「エンビアパック リサーチ コンサルティング社」はベトナムの環境法・規則、化学物質規制コンサルティング、環境監査、土壌・地下水汚染調査・対策、環境デューデリジェンスなどをや

っていきます。

特に、新しく法律として定められた「温室効果ガス排出削減規制（GHGインベントリ）」の
手続き・申請等の支援は皆様のお役に立てると思います。

メンバーは現地側トップのニーヤと男性のヒュー君、女性のプーンさんの現状3人ですが、近
日中に総務・経理担当者が増えます。

なお、社長は親会社 Envix 社（日本）の中里社長です。



プーンさん、中里社長、ニーヤ、八巻、ヒュー君



事務所はこのビルの8階です

【ベトナム事情】

ベトナムは10年前に産廃処理施設の計画で行ったことがありました。

たしか、その当時、高層ビルはほとんどなかったのですが、今はたくさん建っています。

そして、なにしろバイクが多い。バイクだらけです。そのため、大気汚染がかなりひどいです。
全体的にかすんでいるのは排気ガスの影響のようです。

ベトナムで今、一番の環境問題は大気汚染で、次はゴミ、水質汚濁と続き、土壌・地下水汚染
問題はまだまだのようです。



ハノイの高層ビル



バイクの洪水

また、PFAS問題についてベトナムの状況を聞いてみましたが、「PFASって何？」とい
うレベルで、話題にもなっていないようでした。

【タイのGBP社もがんばっています】

タイ、バンコクにも行っています。

バンコクGBP社（Green & Blue Planet Solutions）もがんばっていて、今、メンバーは梅山君（写真の右前、現地側の実質社長）含め10人になりました。

写真は私も含めみんなでの懇親会に行った状況です

GBP社は環境法規コンサルティングが主ですが、最近多いのは環境監査、環境デューデリジェンス、再エネ証書、廃棄物処理計画などです。

特に「再エネ証書」は、事業の使用電力を100%再生エネルギーで賄うために、再エネ電力の不足分を証書でカバーする仕組みです。

これは日系大手企業様からもたくさんの契約をいただいています。

梅山君はもう10年になるのですが、バンコクではコンサルティングとしてかなり有名になりJETROの講演会なども数多くこなしています。

さらに、ラオス、バングラデシュなど近隣各国からの相談も増えてきました。

環境デューデリジェンスもさかんです。

私もタイで3件やりました。

M&Aや工場進出に伴う環境デューデリジェンスです。

これの手間がかかることは、日系企業が関係する場合、関係法規としてタイの法律と日本の法律の両方に照らし合わせてチェック・評価する必要があることです。

例えば、土壌の場合、タイには環境省の環境基準と工業省基準の2つがあり、それに日本の土壌汚染対策法の基準を加えて3つを検討・評価することになります。

今後、国際的なM&Aが増えるでしょうから、環境デューデリジェンスのニーズも増々増えるものと予想しています。



みんなで焼肉懇親会



ラヨーンの本場のエントランスにて



タイの本場サイトビジット

GBP社のタイでの土壌事業では、土壌調査、地下水調査、地下水汚染対策はあったのですが、規模の大きな汚染土壌処理工事はまだありません。

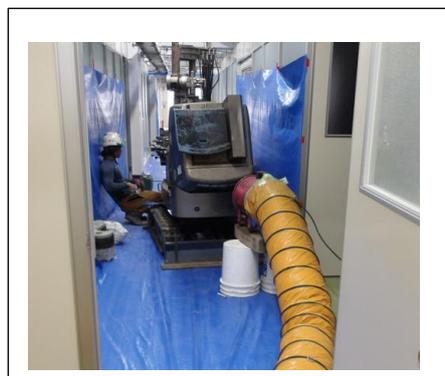
タイは土壌の法律はあるのですが、処理工事の実施まではなかなか進まないようです。

【国内の汚染土壌プロジェクト】

日本国内でも、ぼちぼちやっています。

調査プロジェクト、対策プロジェクトともそれぞれ進めています。

調査では、狭小地でのボーリング調査とか、油汚染調査などしています。



狭小地ボーリング調査



油汚染調査オールコア観察

対策工事では、掘削搬出工事はもちろんありますが、変わったところでは表層土壌混合の化学処理をしました。

酸化剤の表層混合処理です。

写真は、その混合バケットで、中で攪拌機が回転して土壌と薬品を攪拌混合します。

右はその状況で、ほこりの発生が難点です。



攪拌混合バケット



表層混合状況

一般的な掘削除去工事（自主）ももちろんありますが、土対法（土壌汚染対策法）がらみの、

形質変更時要届出区域での掘削工事届（形質変更届、法第 12 条）および汚染土壌搬出届（法第 16 条）が多いです。

中には要措置区域での汚染除去計画書出での工事（法第 7 条）もあります。

土対法がらみや自治体条例関係の申請書類作成、管理・記録、写真・計測、措置完了報告書作成などがある場合は、ぜひ相談ください。



機械工場での掘削搬出工事



化学工場土壌処理

【セミナー】

やっと、WEB形式セミナーだけではなく、対面形式のセミナーも増えてきました。

右は産業環境管理協会の「土壌・地下水汚染に関する基礎セミナー」です。

このセミナーは、初めて、「対面セミナー+WEBセミナー」の両形式同時開催でやりました。

今後、こういう形式も増えそうですね。

今年はまだ「土壌汚染調査技術管理者試験セミナー」もあります。

技術管理者試験にトライされる方はぜひこのセミナーを検討ください。



土壌・地下水汚染に関する基礎セミナー

【グルメ】

グルメはやはりベトナムから。

「生春巻き」です。

おなじみの長方形の春巻きの形に巻かれたものが出てくると思ったら、自分で巻いて食べる料理でした。

生地と鳥肉、野菜などの材料が出てきて、生地を広げて材料をのせ、長方形の形に巻いてソースをつけて食べました。



左下が生地、野菜と鶏肉



生地に材料をのせて



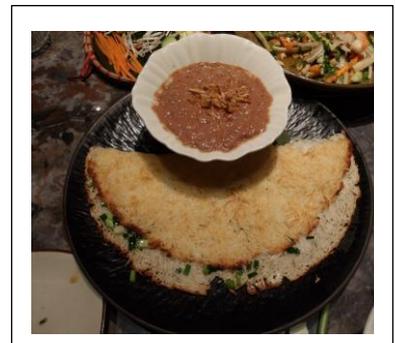
春巻きの形に巻いて食べます

もう一つは「クリスピー」。

薄いライスの板状のものが焼いてあり（お好み焼きみたい）これを半分に折って重ねて茶色のソースをつけて食べます。

手でパリパリと小さく割ってちぎって食べます。

何のソースなのかわかりませんが、おいしいソースでした。



不思議なクリスピー

【マラソン】

マラソンは、コロナで走らなくなり、しばらくお休みでした。

その後、再開して頑張ろうとしたものの、体力が落ちてダメでした。

なんとか、ハーフ（21km）くらいが走れるように復活したいと思っているのですが、なかなか難しいです。

まず、10kmくらいの大会に挑戦しようとトレーニングしています。

右の写真は、バンコクのホテルのそばの公園です。

久しぶりにバンコクを走ってきました。

この公園にはランニングコースがあって、市民も走っています。



バンコクの公園

【社名変更】

「(株)ヤマキ環境」は「(株)ティーメックソリューション」に社名変更しました。
親会社(株)ティーメックのグループの一員であることをわかりやすくするためです。
業務内容はこれまでと変わりません。
今後とも引き続きよろしくお願いいたします。

【ご相談ください】

- 環境デューデリジェンスのお問い合わせ
 - 買う土地、売る土地の土壌調査をしたいがいつしたらいいの
 - 工場を閉鎖する、移転する、工場を買う、工場を売る
調査必要なの？いつ？いくら？
 - 「白の証明（汚染なし）」って必要なの？

 - 「浄化工事」っていくらかかるの？」
 - 今、しなくちゃいけないの？」
 - 「バイオ処理」ってホントに安いの？」
- など対策の相談

どうぞ、お気軽に！

産業廃棄物や水処理、低濃度PCBなども
お気軽に相談ください。

株式会社ティーメックソリューション

〒103-0004

東京都港区芝五丁目 31-19

ラウンドクロス田町 10F

TEL 03-6722-0207

携帯 090-8774-9453

MAIL a-yamaki.ymk@t-mec.co.jp

yamaki@yamakikankyo.jp

(両アドレスとも大丈夫です)

HP www.yamakikankyo.jp